

平成30年度一般選抜（後期日程）

小論文問題

注意事項

- 1 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙を開けてはいけません。
- 2 問題用紙・解答用紙の定められた欄に必ず受験番号と氏名を記入しなさい。
- 3 問題用紙と解答用紙が別々になっています。表紙は切り離さずに解答しなさい。
- 4 問題用紙は表紙を入れて2枚、解答用紙が1枚、下書き用紙が1枚あります。
- 5 解答時間は60分です。
- 6 解答は解答用紙に横書きに記入しなさい。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【問題】 次の文を読んで、下記の設問に答えなさい。

直感を磨くには、多様な価値観をもつことだと思う。

直感は、だまっけていても経験によって自然に醸成されていくものである。その醸成は日々の生活の中でも知らず知らずのうちに行われているはずだ。そうした経験も大切だが、そこから何を吸収するかはより重要だ。それによって価値観も変わるからだ。

だからこそ、時には立ち止まって軌道修正が必要かどうかを確認しなければならない。直感のように感覚的なものはとても微細なものなので、少しのズレが大きな結果の違いを生むことも珍しくはない。

そして、目の前の現象に惑わされないこと。

近視眼的な成果にばかり目を奪われ、あるいはデータに頼って情報収集に終始することでは、おそらく足りない。それらに対する意識は不要とまではいわないし、またそれらはたいてい気づかぬうちに判断材料に入ってしまうがちなものである。しかし、であるからこそ意図的にそれらをセーブしなければならない。

そして自分の思うところ——自分自身の考えによる判断、決断といったものを試すことを繰り返しながら、経験を重ねていく。そうすることで、自分の志向性や好みが明確になってくる。

「好み」というと単なる好き嫌いに聞こえるかもしれないが、それはとりもなおさず自分自身の価値観をもつことではないだろうか。

出典：羽生善治『直感力』, PHP 新書 827, 株式会社 PHP 研究所, 2012.

設問1 「直感を磨くには、多様な価値観をもつことだと思う。」と著者が考える理由を200字以内で述べなさい。

設問2 下線部の主旨について、自分の体験をもとに、あなたの考えを600字以内で述べなさい。